

名古屋大学情報基盤センター

共同利用システム速報

No. 110

平成 23 年 8 月 30 日 発行

目 次

1. 可視化アプリケーション講習会の開催について・・・・・・・・・・・・・【1】
2. 富士通コンパイラ（C、C++）の障害について・・・・・・・・・・・・・【4】

1. 可視化アプリケーション講習会の開催について

スーパーコンピュータやアプリケーションサーバで利用できる可視化アプリケーションの講習会を、下記の内容で開催します。

今回講習を行うアプリケーションは、

- ・ AVS : 汎用可視化ソフトウェア、可視化アプリケーション開発ツール
- ・ Ensignt : 汎用ポストプロセッサ（商用ソルバー対応）
- ・ IDL : データ解析、汎用可視化ソフトウェア
- ・ ENVI : リモートセンシング用の画像解析ソフトウェア

です。受講の申込は、センター 1 階事務受付で行います。

場 所： 本センター 1 階端末室

対 象： 本センター利用有資格者および学部学生

定 員： 各 15 名

申込締切日： 各講習会開催日の 4 日前までです。ただし、定員になり次第締切ります。

申 込 先： 本センター 1 階事務受付

電 話： 052-789-4355

メール： koshu@itc.nagoya-u.ac.jp

（電子メールで申し込む場合には所属、職名等の身分も明記してください。）

<各講習会内容と開催日時>

1) AVS 利用講習会（入門編）

日時： 平成 23 年 10 月 12 日（水） 13 時～17 時

内容：

- ・ AVS/Express の概要と機能説明
- ・ AVS/Express の基本操作・プログラミング
- ・ AVS/Express のファイルフォーマットの説明
- ・ AVS/Express を使った可視化実習

- ・ 可視化相談

2) AVS 利用講習会 (応用編)

日時： 平成23年10月13日(木) 10時～16時00分

内容：

- ・ 便利な機能/可視化事例/可視化機器 (立体視等) 紹介
- ・ 可視化結果の保存 (2D,3D,4D コンテンツ) および利用方法
- ・ AVS/ExpressPST (並列版) の概要と機能説明
- ・ AVS/ExpressPST のデータフォーマットの説明
- ・ AVS/ExpressPST を使った可視化実習
- ・ 可視化相談

2) Ensign 利用講習会

日時： 平成23年10月20日(木) 13時～16時30分

内容：

- ・ 概要と機能説明 (便利な機能)
- ・ 基本操作
- ・ 実習 (流体解析結果, 構造解析結果の可視化等)

3) IDL 利用講習会(中級編)

日時： 平成23年10月4日(火) 13時～17時00分

平成23年10月5日(水) 10時～17時00分

内容：

- ・ IDL 開発環境の説明
- ・ IDL データ操作、IDL プログラム作成、ファイルアクセス の説明
- ・ サーフェスプロットとコンタプロットの説明
- ・ 信号処理、画像処理、地図情報へ投影の説明
- ・ 質疑応答

4) ENVI 利用講習会

日時： 平成23年10月6日(木) 10時～17時00分

内容：

- ・ ENVI の基本操作の説明
- ・ コントラストの変更、画像への重ね書き (Overlay) の説明
- ・ 教師付き分類 - 相関図の使用法、分類法の実行等の説明
- ・ 幾何補正 (GCP) - GCP の取り方、ワープの手法等の説明
- ・ 質疑応答

<パッケージ一口メモ>

1) AVS/Express

ビジュアル・プログラミングにより、独自のグラフィックスアプリケーションの開発および可視化を行うツールです。流体解析，構造解析，計算化学，医療画像などの幅広い分野で利用されています。大規模データにも対応しています。

可視化結果は、本センター1階端末室に設置してある可視化装置を使って、大画面，高解像度，立体視等を使った様々な可視化を行うことができます。

2) EnSight

EnSight は、CFD、燃焼モデリング、構造分析、衝撃・衝突解析、熱力学、電磁気学などの分野における幅広いCAEシミュレーションから生成されたデータをインタラクティブに可視化するための可視化ツールです。市販の主要なCAEソルバー（ANSYS, ABAQUS, CFX, FLUENT, LS-DYNA, MARC, Nastran, STAR-CD(STAR-CCM+)等）に対応しています。

3) IDL

計測・実験，数値計算，統計解析，シミュレーション，ビジュアライゼーションなどで使用されているソフトウェアです。主に、データ解析，可視化，アプリケーション開発に利用されています。地球科学，宇宙科学の分野でよく利用されています。

4) ENVI

ENVIは衛星画像、航空写真、レーダ、ハイパースペクトルなどのリモートセンシングデータの解析および可視化を行うソフトウェアです。様々な汎用的センサー・データの読み込み、フィルタリング等の画像処理、データ分類、標高データ解析などの機能が利用できます。また、IDLを利用することで、ENVIにユーザー独自のアルゴリズムを追加することが可能です。

2. 富士通コンパイラ (C、C++) の障害について

富士通コンパイラ C、C++においてコンパイラの最適化処理に誤りがあり、誤った実行結果が得られる障害が2件発見されましたのでご連絡します。

詳しくは、下記の Web ページを参照ください。

情報基盤センターHP の「お知らせ」:

http://www2.itc.nagoya-u.ac.jp/sys_riyou/infonews.htm

この障害は、10月3日の定期保守日に修正予定です。

影響システム: すべてのシステム (HX600, FX1, M9000)